

## 助成対象活動報告シート

団体名： 大杉まちづくり会

### 1 助成を受けて実施した活動

※ 活動の様子がわかる写真(数枚)を入れ込んで記入してください。

#### 1 令和5年度大杉まちづくり会の主な活動

- 6月10日(土) 第2回おおすぎ落語会
- 7月22日(土) 夏祭りカラオケ大会 学区連絡協議会に協力
- 8月22日(火) トワイライト出前講座
- 8月27日(日) 第2回歴史講演会
- 11月26日(土) 大杉まち歩き大会
- 2月18日(日) 第3回おおすぎ落語会



#### 2 助成に関わる活動

- ・ロゴマーク、マップ作成打合せ経緯  
8月から2月まで大学教授参加のもと計13回打合せ  
(内10月8日には名古屋造形大学教授・学生に  
大杉の街の案内ツアー実施)
- 9月1日付で名古屋造形大学と大杉まちづくり会の  
「産学連携に関する覚書書」取り交わし
- 11月26日「大杉まち歩き大会」にて参加者による  
ロゴマーク選定の投票を実施



2月マップ完成→印刷



#### 3 成果物の写真 ロゴマーク マップ「大杉学区界限 今昔地図」 A3両面印刷



## 2 活動の成果および目標達成度合い

「まち歩き」及び「落語会」「講演会」の参加者アンケート結果では、ほとんどの方が地域への愛着が深まったと回答していた。他の項目においても地域の良さの再認識を通して今後の参加、開催を希望する声が多くあり、住民の街に対する意識の高まりを活性化することはできたと思う。今後、この動向を活かしていく上で、作成したマップは、大きな力になると考える。

### 6. 「大杉まち歩き」に参加して、地域への愛着が深まったと思いますか。

	思う	少し思う	わからない	あまり思わない	思わない
19歳以下	19	3	4	0	0
20代	3	1	0	0	0
30代	8	1	0	0	0
40代	7	0	0	0	0
50代	5	2	0	0	0
60代	7	2	0	0	0
70代以上	44	6	0	1	0
合計	93	15	4	1	0

また、ロゴマークにも114名の方が投票を基に決定できた。作成したマップは今後、学区住民、区役所をはじめとした公所、小中学校、各寺社等に配布予定である。

## 3 活動により見えた課題

大杉まちづくり会の活動により地域の魅力を感じられたことで、住民の地域への愛着が深まったと考えられる。今後は「地域の住民が住み慣れた街でいきいきと暮らし、住み続けたいなるまちづくり」につなげるために活動のさらなる継続が重要だと考える。

そのためには助成金で完成したロゴマーク、マップ「大杉学区界限今昔地図」を活かした活動をいかに継続発展できるか等、以下の課題が浮かび上がってきた。

- ア より多くの参加を地域住民に呼びかけるための周知方法（インスタグラム等）
- イ 活動の継続のために、活動を担うファミリー世代の運営スタッフの募集。
- ウ ロゴマーク、マップ「大杉学区界限今昔地図」の活用。

## 4 今後の活動等の展望

1年間の行事を通じて学区との連携が強化された事により、学区と協力して下記の活動の推進を計る。

- (1) ロゴマークの活用…缶バッジ作り等ワークショップ開催、チラシ、ポスターに掲載。
- (2) マップの活用…「まち歩き」「講演会」「子供たちを対象とした講座」等の実施。
- (3) 妖怪キャラクターの活用…清掃、防犯などのチラシでの掲載、妖怪キャラクターを活用したワークショップとそれを使用したイベント開催（まち歩き等）
- (4) 地元の商店と連携した妖怪にまつわる商品開発。
- (5) 落語会、講演会、まち歩きの継続。
- (6) 「まち歩き実行委員会」の立ち上げ（学区の体育委員、交通委員、防犯委員等への協力要請とファミリー世代の運営参加促進のため）
- (7) 「大杉学区界限今昔地図」第二弾として「昭和の大杉学区界限」のマップ作成検討。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさ日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。